



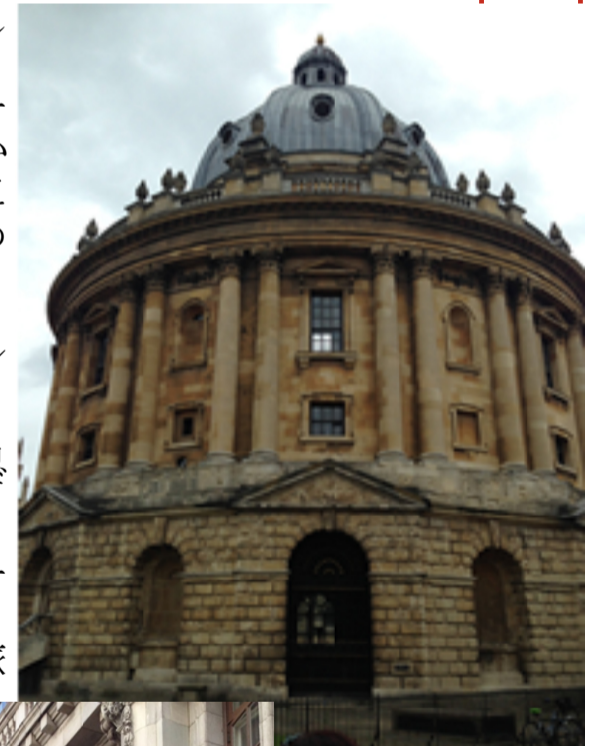
勤続20周年のクーポンを使って、イギリスに行ってきました。ロンドンは涼しくて気持ちよかったです。寒いくらいでした。で、7日のうち3日が移動というハードスケジュールの中、飛行機もホテルも選ばません。運よくパディントン駅のそばのホテルでした。ホテル前の公園でパディントンの像の前で親子がチェスをしていました。こんな小さな子でもチェスができるんだもん、『ハリー・ポッター』のロンができて不思議はないなあと思いました。

で、こちらはパディントン駅の1番ホームでパディントンベアーが家族に拾われたところ。作者のマイケル・ボンドさんがこの6月になくなっていたので追悼の額縁とパディントンが大好きのマーマレードがたくさん置いてありました。



そしてテムズ川沿いにあるシェイクスピアの劇場グローブ座。16世紀の劇場を模して作られています。消防設備としてスプリンクラーが屋根についています。でも照明設備がないので（役者の表情が見えない）、午後2時からの開演となるそうです。シェイクスピアの時代もいつも午後2時からでした。でも夏のロンドン午後9時くらいまで明るいですよね。劇を見ながらだんだん夜のとばりがおきてくるのを見るのは少しロマンティック。ガイドのお姉さんはロンドン大学の博士号を取ったとかで熱弁をふるっていて、その後のヘリコプターツアーに行くのに遅れそうになりました。

今回、コッツウォルズ地方のワーリック城（城の周りの庭に孔雀がいました）、ストラットフォード（シェイクスピアの生誕地）、オックスフォードのツアーに申し込んだのですが、結構ガイドさんが大雑把で、シェイクスピアの生誕地では団体入口で40分も立って待たされ、その分ショップや町並みを見る時間がなくなり、私のメインの目的であるオックスフォードはまさに駆け足でした。「女性の公衆便所がなくなったからデパートの3階とホテルの1階とどこそこの店のみ使えるから、それでは解散！30分後に別れた場所に集合」というざっくりした指示にしたがって急いでボドリアン図書館に取って戻して、美しいラドクリフカメラの写真を撮って、ライブラリーのショップでチョコレートやら本好きにささげるCDやらを購入し、走って集合場所に向かうとトイレに向かう友人に遭遇という事態でした。ぜったい次にいくときはオックスフォードオンリーにするんだと強く心に決めました。



大英図書館も大英博物館もフリーメーソンの本部も、どこにいても荷物を調べられ、テロの影響を感じました。『ボブという名のストリートキャット』のコベントガーデンに行って、Waterstoneで本を買ってシャーロック・ホームズが行ったストランドで食事をしました。実質4日のロンドンの旅でしたが、幸せな旅でした。

